

## 12 チェックリスト

研究を進めていく中で、時々、このチェックリストと自分たちの作業内容を照らし合わせて確認しよう

B:全員が満たすべき項目 A:全員が満たすことが望ましい項目 S:目指してほしい項目

○ or × で答える

評価する項目	レベル (難易度)	チェック項目	自己チェック			他者チェック		チェック時期				
			1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	2年7月 研究計画書	2年10月 進捗状況 クラス報告会	2年1月 中間クラ ス報告会	3年5月 クラス報 告会(論 文完成)	
提案型or 実験・観察型	B	①提案型は研究のまとめとして、自分の研究から得たことをどこか(だれか)に提案することを想定できているか										
	B	②実験・観察型は実験や観察を通して、自分で問いの答えを見つける探究となっているか										
研究テーマ (タイトル)	B	①本当に興味のある領域の研究テーマとなっているか										
	B	②大きすぎず、自分が研究可能な領域となっているか(例:少子高齢化や環境問題などは大きすぎず。さらに細分化した領域に落とし込むこと)										
	B	③高度すぎず、自分が研究可能な領域となっているか(例:相対性理論などは高度すぎる)										
	B	④個人の差による影響が大きすぎず、一般的な結論が出せそうな領域になっているか										
研究背景	B	①自分がこれまでに調べた内容をもとに、客観的にその領域の説明ができているか										
	B	②自分の研究を理解するうえで必要な知識を記載できているか										
	B	③何を明らかにしたいのかを明確に記載できているか										
	A	④研究背景に先行研究が記載できているか										
	A	⑤自分の研究に関連する内容で、現段階ですでにわかっていることを記載できているか										
	A	⑥自分の研究に関連する内容で、現段階で明らかになっていないことや課題を記載できているか										
	A	⑦上の項目で、自分が調べられていないのか、現在だれも分かっていない未知のことなのかについて明確に記載できているか										
	A	⑧研究背景に記載された内容で、文献調査から分かった内容について文中に引用元を明確に記載できているか										
仮説	B	①明らかにしたいことと、その問いに対する予想される答えを使って仮説を書いているか										
	B	②仮説は「○○○ならば、△△△なのではないか?」という形で書いているか										
	B	③定義があいまいな言葉・マジックワード(例:平和、安全、オタク、美人など)を使用せずに書いているか										
	B	④文献を調べたらずぐにわかるような内容ではなく、自分で研究する余地がある内容となっているか										
	B	⑤具体的で明確であるか										
	B	⑥自分で、この1年間で検証可能な仮説となっているか										
	A	⑦すでに解明されている内容ではなく、自分の研究を通して解明する内容となっているか										
研究の進め方 研究手法	B	①具体的な手法を記載できているか										
	B	②それぞれの研究手法について日程の計画(いつまでに何をやるのか)を記載できているか										
	B	③自分で、この1年間で実現可能な研究手法となっているか										
	B	④仮説を検証するために適切な研究手法となっているか										
	B	⑤研究手法に文献調査が含まれているか										
	B	⑥研究手法にアンケートやフィールドワーク(インタビューや現地調査)などの文献調査以外の手法が含まれているか										
	B	⑦実験・観察型の場合、研究手法に実験や観察が含まれているか										
	B	⑧アンケートやインタビューの内容を明確に記載できているか										
	B	⑨研究手法に先行研究調査が含まれているか(研究背景で記載があればこの項目は省く)										
	B	⑩アンケートやインタビューなどに関しては決められた手順(配布冊子参照)を踏んだか										
	A	⑪研究手法に、文献調査以外で客観的な数値データを得られる手法が含まれているか										
	A	⑫文献調査はどこで、何を調べるのかを明確に記載できているか										
	A	⑬実験・観察型の場合、条件を一つだけ変えた実験や観察を計画できているか										
	A	⑭調査や実験、観察の分析方法を記載できているか(例:アンケートを集計し、平均値を比較する。t検定を行うことで有意差を判断する など)										
	A	⑮アンケートやインタビューを誰に対して行うのかを明確に記載しているか										
	A	⑯フィールドワークを行う際に、どこで、どのような形で行うかを明確に記載しているか										
	A	⑰アンケート調査は十分な対象人数に行っているか										
	A	⑱調査や実験、観察の分析方法を記載できているか(例:アンケートを集計し、平均値を比較する。t検定を行うことで有意差を判断する など)										
結果	B	①結果に記載された内容で、文献調査から分かった内容について文中に引用元を記載できているか										
	B	②客観的な数値データを示しているか										
	B	③アンケートの回収枚数や有効回答数についての記載があるか										
	B	④実験・観察型は、行った実験や調査について、実験回数や日時、内容、対象者等の明確な記載があるか										
	A	⑤数値の羅列ではなく、わかりやすく図や表を活用できているか										
	S	⑥自分で得られた数値データを統計的に分析できているか(相関分析、回帰分析、t検定等)										
考察	B	①自分で得られた客観的なデータから、何が言えるのかを考察できているか										
	B	②仮説が正しかったかどうかについて、結果をもとに考察できているか										
	B	③実験・観察型は、実験や観察の結果から科学的に考察できているか										
提案	B	①提案型は、得られた客観的なデータに基づく考察から、提案ができていますか										
	A	②提案型は、だれに対する提案なのかを明確に記載できているか										
成果物 (スライド、論文) 全体に関して	B	①写真や図、表などで自分が作成したもの以外について、写真・図・表のすぐ下に引用元を明確に記載できているか										
	B	②自分がとった写真で、個人が特定されるような写真を使用する場合、本人に掲載許可をとっているか										
	B	③自分がとった写真を使用する場合、施設等の撮影許可をとっているか										
	B	④スライド1枚目に自分たちの研究に関連するSDGsの目標アイコンを掲載できているか										
	B	⑤引用文献を正しく成果物の最後に記載できているか										
	B	⑥参考文献を正しく成果物の最後に記載できているか										
	A	⑦自分がやったことの紹介だけで終わらず、自分の研究成果が社会にどのように貢献できるかを記載できているか										
	A	⑧自分がアンケート等で得た情報と、他者から得た情報(文献調査など)を明確に区別できているか										
	A	⑨アンケートやフィールドワークでお世話になった方への謝辞があるか										
	A	⑩考察に至るまでの論に飛躍がなく、根拠に基づき論理的に構成されているか										
	A	⑪この研究がどのように社会に貢献できるかについての記載があるか										
	S	⑫実験・観察型は、仮説・実験・結果・考察のプロセスを複数回行っているか										
発表に 関して	B	①大きな声で発表できているか										
	B	②指定された時間を守って発表できているか										
	A	③原稿を見ずに発表できているか										
	A	④聴衆の方を見ながら発表できているか										
	A	⑤質問された内容を的確に理解し、適切な回答ができていますか										

※パフォーマンス評価